

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月06日

計画の名称	安全・安心な都心空間の実現に向けた中央公園の防災機能強化（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		○		
交付対象	広島市														
計画の目標	中央公園は、広島市の都心部に位置する総合公園であり、サッカースタジアム建設を契機として防災施設を拡充することにより、都心部の防災拠点としての機能強化を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		9,700	A	9,700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R1末）	-	（R6末）
1	地震・火災時における避難所を新たに確保する。			
	避難所の収容人数	0人	0人	2100人
2	津波による浸水時における避難場所を新たに確保する。			
	避難場所の収容人数	0人	0人	10500人
3	避難場所までの避難路を新たに拡充する。			
	避難路の幅員	3m	3m	8m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	都市公園事業（中央公園）	避難所、避難場所、避難路等	広島市	■	■	■	■	■	5,700	1.6	未策定	
	A12-002	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	都市公園事業（中央公園）（５か年防公）	避難所、避難場所、避難路等	広島市	■	■	■	■		4,000	1.6	未策定	
												小計						9,700		
												合計						9,700		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	500	1,315	1,815	100	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	500	1,315	1,815	100	
前年度からの繰越額 (d)	0	500	1,315	1,815	
支払済額 (e)	0	500	1,315	1,815	
翌年度繰越額 (f)	500	1,315	1,815	100	
うち未契約繰越額(g)	500	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	3次補正での配分のため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な都心空間の実現に向けた中央公園の防災機能強化（防災・安全）

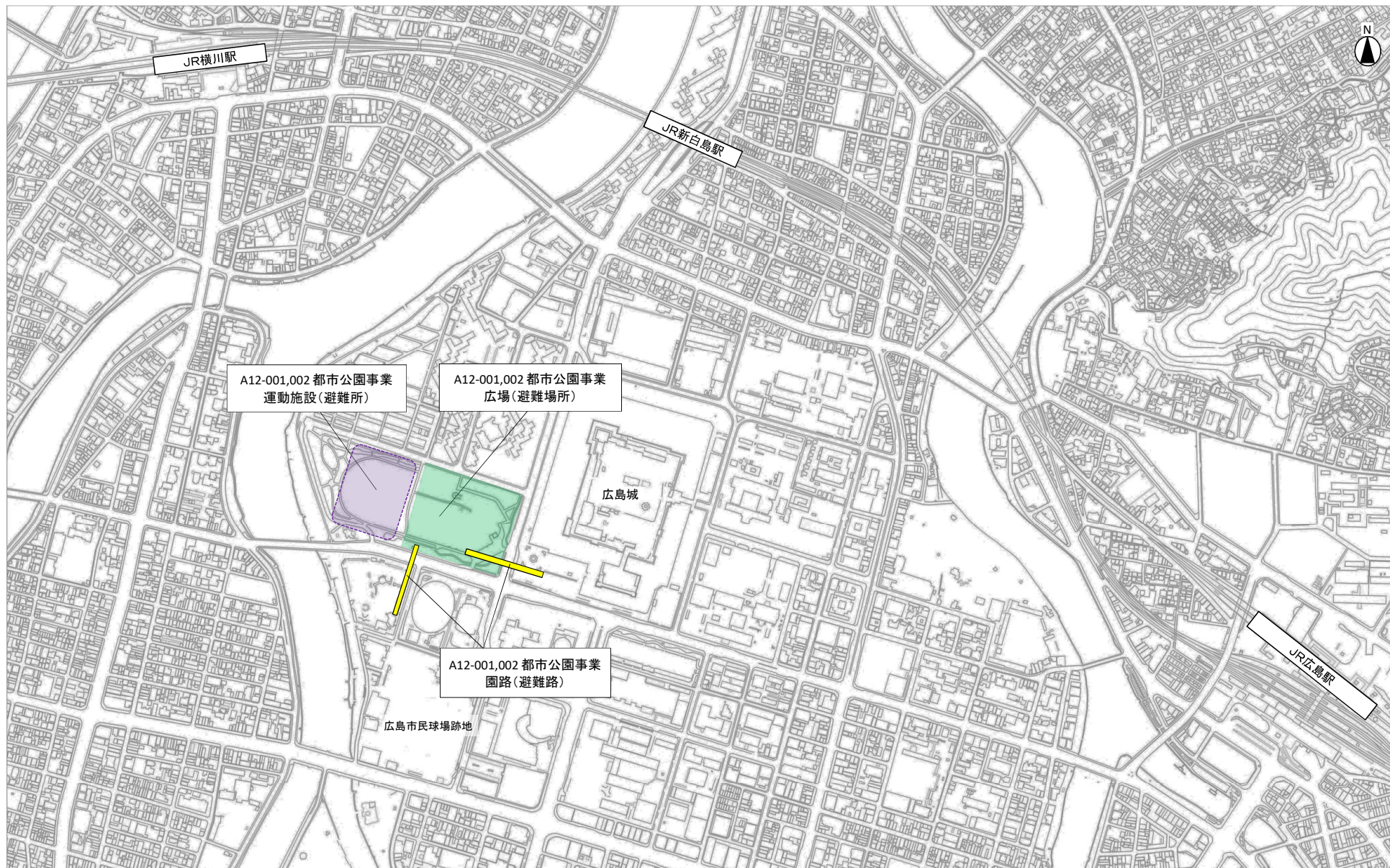
[illegible]

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

令和6年12月4日

計画の名称	安全・安心な都心空間の実現に向けた中央公園の防災機能強化(防災・安全)		
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)	交付団体	広島市



広島サッカースタジアムの災害発生時の利用計画

【災害時の役割・主な防災機能】

- 土砂、洪水、高潮、地震、津波、大火の指定緊急避難場所として指定
 - 住民等の避難場所に加え、帰宅困難者一時滞在施設としても活用
 - 救援物資保管・輸送拠点
 - 浸水を回避できるよう嵩上げ（芝生広場、スタジアムの1階）
 - 集中備蓄用の防災備蓄倉庫
 - 非常用マンホールトイレ
- 《スタジアム本体》
- 自家発電設備の整備により非常用電源を確保
 - 耐震性貯水槽による飲料水の提供
 - 水洗トイレが利用できるよう雨水を溜める洗浄用水槽を設置

※ 災害時の運営方法や取組については、広島市地域防災計画に基づいて行う

